



これからの経済対策

高橋 光孝



問 緊急事態宣言下において、協
力金が出ない業種・業態で苦し
んでいる企業はどれくらいあるのか
伺う。

商工観光課長 要請の対象になら
なかつた飲食店、観光業、宿泊業
などで売上が減少している事業者
はいるとは推察していますが、明
確な数の把握はしていません。

新たな売上向上支援策を

問 一時的な協力金でなく、売上
向上を支援する策が必要であると
考えるが、今後どのような施策を
行っていくのか伺う。

市民経済部長 協力金以外の支援
策として、市内店舗で使用できる
割増し商品券事業を実施していま
す。消費意欲を刺激することで、
広く市内事業者の売上向上につな
がっていると考えていますので、
まずはこの状況の推移を見守って
いきたいです。商品券事業は、お
店にとっても新しい顧客を獲得す
る機会にもなっていることで、継
続的な売上の向上に寄与している
のではないかと考えます。

問 岩沼市にある約1700の製
造業は宮城県内4位の出荷額で、
とても重要である。売上向上支援
策として商工会と連携し、Bto
B向けの企業紹介をきっちりつく
り、ほかの市町村、違う業界に売
り込むような策を取ってはどうか。

市民経済部長 BtoB、Bto
C、特にBtoBで違う相手、違
う事業者とのマッチングが今後大
事になってくると考えます。

問 ふるさと納税の寄附額を維持
していくために、岩沼市商工会や
岩沼市観光物産協会と連携して、
さらに品数を増やし、また新たな
商品開発など、魅力的なラインナ
ップにしてはどうか。

総務課長 ふるさと納税の返礼品
等については商工観光課が窓口にな
り、岩沼市商工会や岩沼市観光
物産協会と情報交換しながら進め
ている状況です。引き続き、地元
事業者の新たな商品開発につな
がるように、連携を深めながら取
組んでいきたいです。



発熱外来と新型コロナウイルス
感染症ワクチン接種

寒風澤敦司



問 発熱外来の具体的な診療内容
について伺う。

健康増進課長 医師の診断、イン
フルエンザの検査、コロナの抗原
検査、PCR検査や薬の処方など
を行っています。

問 自宅療養になった場合、岩沼
市として独自の対応策等の考えは
あるのか伺う。

健康福祉部長 感染症法に基づき
保健所が健康観察等を行っており、
自宅療養に必要な福祉サービスの
情報提供等を行っていますので、今
後も連携できる部分で適切に対応
していきます。

問 今後、PCR検査証明書など
の施設は考えているのか伺う。

健康福祉部長 国から方向性の具
体なところは示されていないので、
示され次第検討したいと思えます。

問 予約状況及び接種状況につ
いて伺う。

健康福祉部長 1回目接種分につ
いて集団接種は10月2日まで、個
別接種は10月16日までの日程を受
け付けています。9月1日以降、
市内接種分として8200名分の

予約枠を設けており、接種状況は
9月5日時点で2回目を終えた高
齢者の接種率91・1%、若年層を
含めた全体では接種率48・0%で
す。

問 土曜日、日曜日、夜間の接種
人数について伺う。

健康福祉部長 土日は平日同様に
最大で320名程度、夜間は10
0名から150名程度の接種を行
っており、接種機会の確保に努め
ています。

ワクチン供給の見込みは

問 ワクチン供給の見込みと接種
が完了するまでのスケジュールに
ついて伺う。

健康福祉部長 供給については9
月20日の週に7020回、10月4
日の週に4680回分です。
国において10月から11月までの
早い時期の完了を目指すとのこと
であり、その時期までに完了でき
るよう進めていきます。